

様々なジャンルのエキスパートの力を結集し お客様の多岐にわたるニーズに対応する

株式会社 バイオネット研究所

東京都立川市柴崎町 3-8-7 アーバンコア・カサイ 302 号

TEL 042-512-9021 FAX 042-512-9022

URL : <http://www.bio-net.co.jp/>



新川 隆朗

代表取締役
工学博士
技術士 (情報工学)
情報処理技術者 (エンベデッドシステム)

計測・解析・画像処理のソフトウェア開発を手掛ける「バイオネット研究所」。同社の強みは各分野に精通した人材が在籍していることだ。そしてソフトウェア開発に限らず、自然栽培にも注力。無農薬栽培による自然薯は多方面から喜びの声が寄せられている。本日は、新川社長の下を、志垣太郎氏が訪問した。

志垣 まずは、新川社長の歩みから。

新川 私は計測機器メーカーで組込みシステムの開発に30年間携わってまいりました。定年退職を機に、今まで培ってきた技術を若い人たちに伝えて新しいビジネスができればいいかと考え、2010年に「バイオネット研究所」を立ち上げました。当社では大きく分けて2つの事業を展開しております。一つが制御系システム開発、もう一つはインターネットを利用した通信販売です。

志垣 具体的に、どのような内容のお仕事をされているのですか。

新川 制御系システム開発では、医療関係の仕事が多いですね。当社エンジニアが培った技術をもとに、大手医療機器計測センターの検体自動搬送システムや高級理学機器の計測システムなどの受託・自社開発を行っています。また、統計的パターン認識技術の開発手法のセミナーやコンサルティングなども実施しているんですよ。以前取り組んだもので例を挙げると、血液検査結果のパターン認識。『東海大学医学部』の大楠先生が出版された本に全国70万人の血液データが載っているのですが、ご本人の許可をいただいて平均値のデータを取らせていただいたんです。そして、それに基

づいて統計表を作成しました。その表には血液検査項目が19あり、自分のデータをプロットすることで、血液年齢などが分かってくるんです。既存の手法では見えなかったものが、違う角度、異なる視点で見ると統計解析することで、新たなパターンやルールが見えてくる。それが現在騒がれているビッグデータを活用する考え方で、見えな

いものが見えてくることに新たなチャンスがあると思っています。

志垣 大規模なデータを活用したビジネスもお考えなんですね。通信販売ではどのようなものを販売されているのですか。

新川 自然薯です。元々、趣味として20年ほど自然薯を栽培していたのですが、山梨県小菅村の農家と提携して、「自然薯.com」という通販サイトを立ち上げて販売することになったんです。一般的に自然薯はパイプに詰めて栽培されますが、当社ではその方法を使わずに自然に近い形で栽培しています。最低でも3年間かけて、無農薬でつくっているんです。ですから1本1本形が違って、土から掘り出すのも大変な作業なので、農学博士の社員に手伝ってもらっているんですよ。注文もたくさんいただいているのですが、嬉しいことにすぐに完売してしまうんです。



URL : <http://zinenzyo.com/>

志垣 こだわりの詰まった商品を作られているんですね。最後に今後の目標を。

新川 当社には工学・医学・生物学・農学・情報テクノロジー、様々な分野のエキス

パートが在籍しております。色々な技術をコラボレーションしていきながら、多摩地域の中小の医療・測量機器専門メーカーが製品を作るための協力をし、今後も黒子のような存在に徹していきたいですね。今は世界中の情報がインターネットに



載っている時代ですから、色々な物を統合すれば新しいものも作り出せるでしょう。どのように展開するかはお客様次第な部分もあり明確ではありませんが、当社には対応できるメンバーがおりますので、今後もおお客様のニーズにお応えしていきたいと思っております。自然薯も、ゆくゆくはJAS認定を取り、販路を拡大していく予定です。とても体にいいものですから、世界へ向けても発信していきたいですね。

after the interview



「技術者はコンサルタント業の面もあるからお客様に色々な依頼に応えるために、日々勉強に励む新川社長の姿勢は素晴らしいですね。これからは、より一層頑張りたいと思います」

志垣 太郎
(俳優)